



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2015年(平成27年)11月15日号 No.1677

目次

■ 2015年1～9月のロシアの貿易	1
■ 統計速報	7
2015年1～10月のロシアのブランド別乗用車販売台数／7	
■ モスクワほっとニュース	8
クレムリンの目の前にある人気のロシア料理店「ドクトル・ジバゴ」／8	
■ エトセラ	9
月例報告会「中央アジア3カ国ビジネスフォーラムの成果」のご案内／9	
■ トピックス	10
OECDがロシアの経済回復を2017年と予測／10	
森精機、工作機械をロシアで生産開始／10	
ナベル、卵の選別包装装置をウクライナへ輸出／10	

2015年1～9月のロシアの貿易

はじめに

ロシア連邦関税局より2015年1～9月のロシアの対外貿易高が発表されたので、今速報ではこれらデータを図表にまとめてご紹介する。なお、以下図表1～4にて用いている2014年1～9月の数値は前年の速報値である点にご注意いただきたい。

関税局の発表によれば、2015年1～9月のロシアの輸出額は2,614億ドルで、前年同期比31.4%の減少となった。すべての輸出商品分類で前年割れが生じているが、ロシアの最大輸出商品である燃料・エネルギーで大きな減少(37.8%減)が生じた。その内訳を見ると、これら商品の輸出量は前年と比べておおむね同じ水準にある一方で、国際的なエネルギー資源の価格低調の影響を受け、輸出額が減少している。他方輸入は、全体の輸入額が1,343億ドルで前年同期比38.0%の減少となった。とくに減少率が大きいのが、やはり、輸入商品中最大の割合を占める機械、設備、輸送機器であった(42.6%減)。

国別に対ロシア貿易高をみると、中国のシェアがもっとも大きく、全体の11.8%を占めた。今まで拡大傾向にあった中口貿易であったが、ここに来て減少を余儀なくされ、2015年1～9月は前年同期比29.7%減の468億ドルとなった。その他の国でも対口貿易高は軒並み減少しており、日口貿易も不振が続いている。日本の対ロシア貿易高は前年同期比で28.9%減少の162億ドルに低下した。しかし、ロシアの主要貿易国の1つであったウクライナの対ロシア貿易が激減、ランキング上位から落ちたため、日本の順位は前年より1ポイント上がり、7位になった。